

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## ろうそくの明かりがほんのり照らす 千乃月あかり



▲会場は幻想的な雰囲気にも包まれた

旧柳川藩主別邸・御花の東庭園で、3月11日と12日の2日間、千乃月あかりが開かれました。柳川雛祭りさげもんめぐりのイベントの一つで、柳川青年会議所などが実施。昨年11月に行われた白秋祭水上パレードのコースに、竹で作った灯ろうを設置し好評だったことから企画されました。庭園には1414個の竹灯ろうを設置。ハートの形に並べたり、池の中にも竹灯ろうが置かれ、家族連れやカップルなどが優しく照らされた会場の幻想的な雰囲気を楽しみました。

## 卒業式は新たなスタート

### 市内小中学校で卒業式

市内では、3月11日に中学校で、3月18日には小学校で卒業式が行われました。今年の卒業生は、小学校で706人、中学校で675人です。

学びやから巣立つ蒲池小学校の児童70人は、原猛彦校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。原校長は「明日の柳川、明日の日本を担うのはあなたたちです。自分の弱い心に負けない強い心を持ってください」とエールを送りました。卒業生は6年間の思い出を発表し、校歌などを歌い別れを惜しみました。



蒲池小学校校歌を合唱する卒業生

## 柳川の芸能が見事な共演

### 柳川市文化協会連合会第2回芸能祭

3月13日、大和公民館で柳川市文化協会連合会第2回芸能祭が開催されました。将来の一本化に向け、柳川、大和、三橋の文化協会がお互いの交流を図ろうと設立された、市文化協会連合会の主催行事。各協会に所属する団体が一堂に会し、歌や踊りなどを披露しました。69種目にも及ぶさまざまな芸能の舞台に観客からは、大きな拍手が送られていました。

また、会場には東北地方太平洋沖地震への募金箱を設置し、出場者や来場者に支援を呼びかけました。



謡曲が朗々と謡いあげられた

## わくわくドキドキおはなしの世界

### あめんぼおはなし会

市立図書館では、あめんぼおはなし会を3月19日にあめんぼセンターで開催しました。筑後地区を中心に活動をしているSOACのメンバー11人が、「ねえ、どれがいい?」、「もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう」、「うごいちゃだめ!」、「とうさんかあさん」の4つの話をスクリーンや紙芝居を使って、感情豊かに朗読。子どもたちは真剣な表情で話に聞き入り、すっかりおはなしの世界にひき込まれていました。



▲紙芝居を真剣にみつめる子どもたち

## 柳川のひなまつりにうっとり

### 初節句めぐり

3月12日、13日、26日、27日の4日間、柳川雛祭りさげもんめぐりのイベント「初節句めぐり」が催されました。ひな壇とさげもんなどを飾りつけた市内の初節句の一般のお宅をめぐりました。今回公開されたお宅は4軒で、それぞれ工夫をこらして飾りつけられました。参加者は「柳川のさげもんを見たくて今回初めて参加しました。どのお宅もとてもかわいく飾りつけられていますね」と話しました。



美しく飾られたひな飾りに見とれる参加者

水も人も  
キラリ

## 川柳

今月の入選作品・課題「川」

### 春うらら遠回りした川明かり

佐藤良子(蒲生)

春はあらゆるものが「張る」季節。柳の芽も菜の花も、そして心も。上着を脱ぎ捨てきらめく風にならう。「川」に寄せられた作品を読みながら柳川がいかにも自然に恵まれ心豊かな郷土であるかを再認識させられた。この美しい故郷を後世に伝えるのも私たちの責任である。 流青

沈む陽に染まりて川は何語る  
行く川やかかり火照す鶴飼船  
人と人繋ぐ大河が蛇行する  
天の川青春の恋今遠し  
春がすみ川の流れに人は住み  
逆らわず流れのままに今を生き  
歌声の聞こえてきそうな春小川  
文明の元を辿れば川がある  
再会に言葉あふれて川になる  
川下り棹から春を滴らす  
あつた筈めだかザリガニ住む小川  
川土手に菜の花摘みの誘いあり  
おさなき日泳いだ川がよみがえる  
なの花の中を流れる筑後川  
川の中小魚あつまり論議中  
友ありて人生の川渡りたる  
矢部川を上げれば美家近くなる  
廃船が無言の姿さらす川  
四季の彩川に沈んだ小石達  
故郷のたゆたう川は母の胸

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。5月の課題は「水」です。入選作品は5月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、4月15日(※必着)までにお送りください。

水少し加えて出した自己評価

流青